

B-MOSアップデート内容（2026/07/23公開）

2026年7月23日 公開のネットアップデートの追加機能や変更箇所等については、以下の内容となります。

ハウストラ

◆直下に柱がない上階柱の軸力の伝達について改善

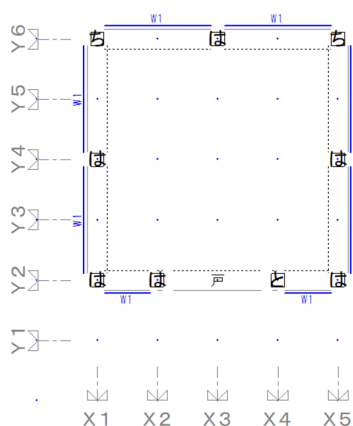
片持ち梁の先端柱に軸力(引抜き力または圧縮力)が生じる場合、その軸力が下階柱に伝達されるように改善しました。



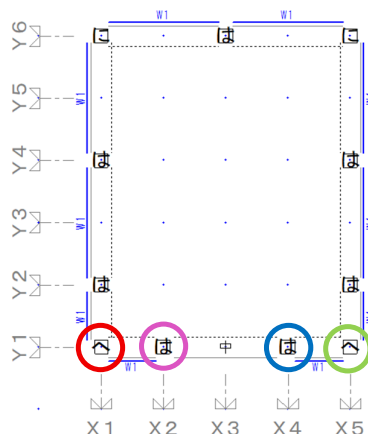
注意事項

- 計算中の物件や申請中の物件については、アップデートの前後で**計算結果が変わる可能性があります。**
そのため、アップデートを実施する際はご注意ください。
- 軸力を伝達は、柱と梁の配置関係を考慮して算出しています。
そのため、梁の掛け方を変更すると、伝達される軸力の値が変わりますのでご注意ください。

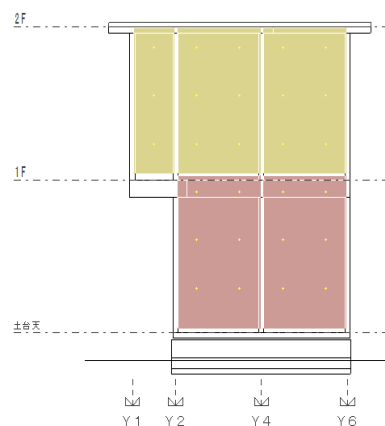
片持ち梁の先端部に生じる軸力の伝達について



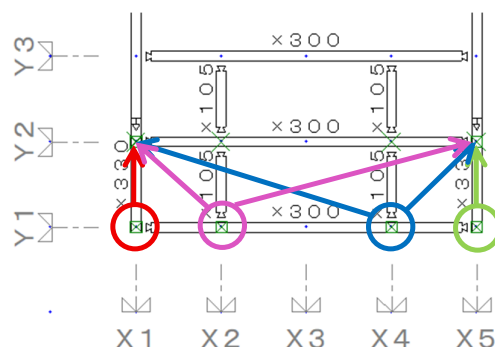
柱壁伏図 1階



柱壁伏図 2階



軸組図 X1 通り



床伏図 2階

W1 : 構造用合板 2.5 倍
2 階桁高 : 2,900 mm
1 階桁高 : 2,900 mm

- 軸力 → 1 階(X1,Y2)の柱に伝達
- 軸力 → 1 階(X1,Y2)、(X5,Y2)の柱に伝達
- 軸力 → 1 階(X1,Y2)、(X5,Y2)の柱に伝達
- 軸力 → 1 階(X5,Y2)の柱に伝達

よって

1 階 (X1,Y2) 柱には ● ● ● が伝達

1 階 (X5,Y2) 柱には ● ● ● が伝達

例：1 階（X1、Y2）柱に伝達する軸力の計算方法

[水平力検定／柱脚柱頭接合部の引張耐力の検定]

伝達された軸力は、
合計値を計算式に表示します。
詳細の計算内容は※1 参照

座標		階	出隅	算定 方向	加力 方向(kN)	計算式	引張力 (kN)
X	Y						
1	2	1	○	X→	13.2	$(4.9 \times 2.9 \times 0.8) + (0.0 \times 2.9 \times 0.5) + 7.9 - 13.2 = 6.1$	9.6
				X←	13.2	$(-4.9 \times 2.9 \times 0.8) + (0.0 \times 2.9 \times 0.5) - 7.9 - 13.2 = -32.5$	
				Y↑	13.2	$(4.9 \times 2.9 \times 0.8) + (0.0 \times 2.9 \times 0.5) + 11.4 - 13.2 = 9.6$	
				Y↓	13.2	$(-4.9 \times 2.9 \times 0.8) + (0.0 \times 2.9 \times 0.5) - 11.4 - 13.2 = -36.0$	

● 2 階(X1,Y1)より伝達する軸力

【X 方向】 2 階 Y1 通り(X1-X2)の耐力壁より

(左から加力時) $2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.8 = 11.4\text{kN} \Rightarrow 11.4\text{kN}$ (引張)

(右から加力時) $-2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.8 = -11.4\text{kN} \Rightarrow -11.4\text{kN}$ (圧縮)

【Y 方向】 2 階 X1 通り(Y1-Y2) の耐力壁より

(下から加力時) $2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.8 = 11.4\text{kN} \Rightarrow 11.4\text{kN}$ (引張)

(上から加力時) $-2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.8 = -11.4\text{kN} \Rightarrow -11.4\text{kN}$ (圧縮)

● 2 階(X2,Y1)より伝達する軸力

【X 方向】 2 階 Y1 通り(X1-X2)耐力壁より

(左から加力時) $-2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.5 = -7.1\text{kN} \Rightarrow -7.1\text{kN} \times 2730/3640 = -5.32\text{kN}$ (圧縮)

(右から加力時) $2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.5 = 7.1\text{kN} \Rightarrow 7.1\text{kN} \times 2730/3640 = 5.32\text{kN}$ (引張)

【Y 方向】 耐力壁なし

伝達する軸力なし

按分処理

● 2 階(X4,Y1)より伝達する軸力

【X 方向】 2 階 Y1 通り(X4-X5)耐力壁より

(左から加力時) $2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.5 = 7.1\text{kN} \Rightarrow 7.1\text{kN} \times 910/3640 = 1.77\text{kN}$ (引張)

(右から加力時) $-2.5 \times 1.96 \times 2.9 \times 0.5 = -7.1\text{kN} \Rightarrow -7.1\text{kN} \times 910/3640 = -1.77\text{kN}$ (圧縮)

【Y 方向】 耐力壁なし

伝達する軸力なし

<1 階（X1、Y2）柱に伝達する軸力> ※1

【X 方向】 2 階 Y1 通り(X1-X5)間の耐力壁より

(左から加力時) $11.4 - 5.32 + 1.77 = 7.85\text{kN}$

(右から加力時) $-11.4 + 5.32 - 1.77 = -7.85\text{kN}$

【Y 方向】 2 階 X1 通り(Y1-Y2)耐力壁より

(下から加力時) $11.4\text{kN} = 11.4\text{kN}$

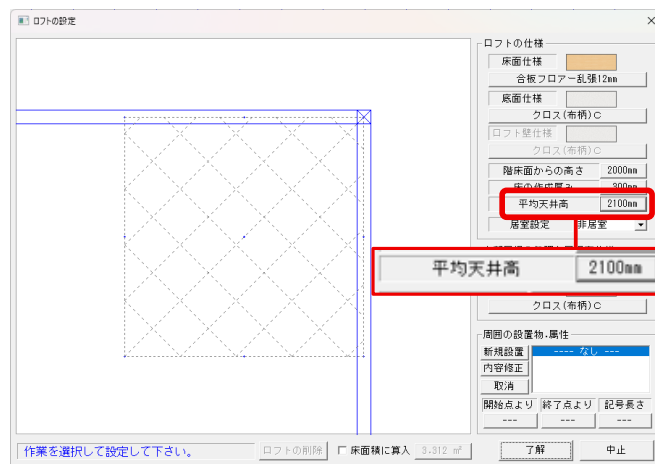
(上から加力時) $-11.4\text{kN} = -11.4\text{kN}$

<他の検討表への影響>

鉛直荷重の検定	柱の座屈に対する検定
	柱の座屈、風圧力の検定一覧
	柱軸力による横架材のめり込みの検定
基礎検定	基礎梁の設計用短期応力の算定（基礎ばり短期曲げに対する検定/水平加力時脚部軸力）

◆ロフト天井高の下限値を 1000 から 500 に変更

平面図／ロフト／ロフトの作成の画面の [平均天井高] の下限値を **1000** から **500** に変更しました。

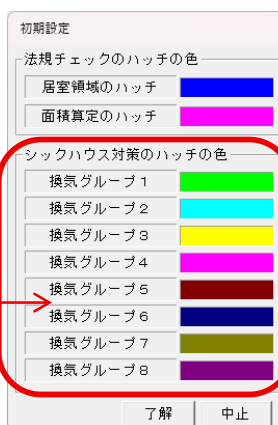


法規チェック

◆換気グループを最大 16 個まで領域表示に対応

設定／ライン色設定では、最大 8 グループの色設定が可能です
が、9 グループ以降については 1 グループの色から順に繰り返して参照する仕様へ変更しました。

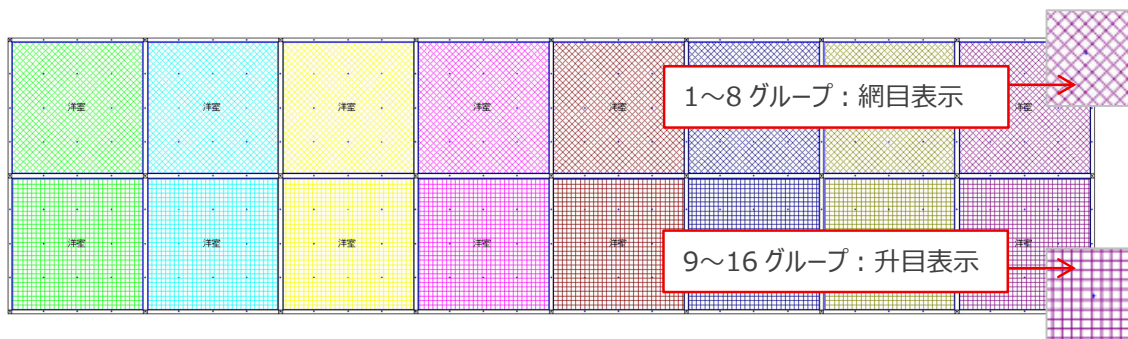
9 グループ以降は 1 グループ
の色から順に繰り返して参照



ライン色設定

また、パターン表示については、換気グループ数が 1～8 個の場合は従来どおり「**網目表示**」、9～16 個の場合は「**升目表示**」となるよう修正しました。

[シックハウス対策／換気領域設定／換気グループの変更・作成で換気グループを設定]



構造図自動作成

◆間柱および小屋間柱を「作成する／作成しない」の条件設定を追加

構造図自動作成時の条件設定画面で、間柱および小屋間柱について「作成する／作成しない」の条件を設定できるようにしました。

- 屋根伏図自動作成
小屋間柱の「作成する／作成しない」を追加
 - 柱伏図自動作成
間柱の「作成する／作成しない」追加
- ※在来工法のみ対応となります。

構造図自動作成の設定画面

◆屋根伏図自動作成時、設定した材種を構造図入力時コマンドへ反映するように改善

屋根伏図の自動作成時に設定した「小屋束」の材種が、「小屋束」コマンドで小屋束を入力する際にも反映されるようになりました。

構造図自動作成後、屋根伏図へ

その他

◆ガス乾燥機、ランドリーハンガー、リリカラのクロス「BASE」壁仕様、天井仕様の追加

ガス乾燥機	/	9 点
ランドリーハンガー	/	6 点
標準破風・鼻隠し部品	/	138 点
リリカラ壁仕様	/	7 点
リリカラ天井仕様	/	7 点

